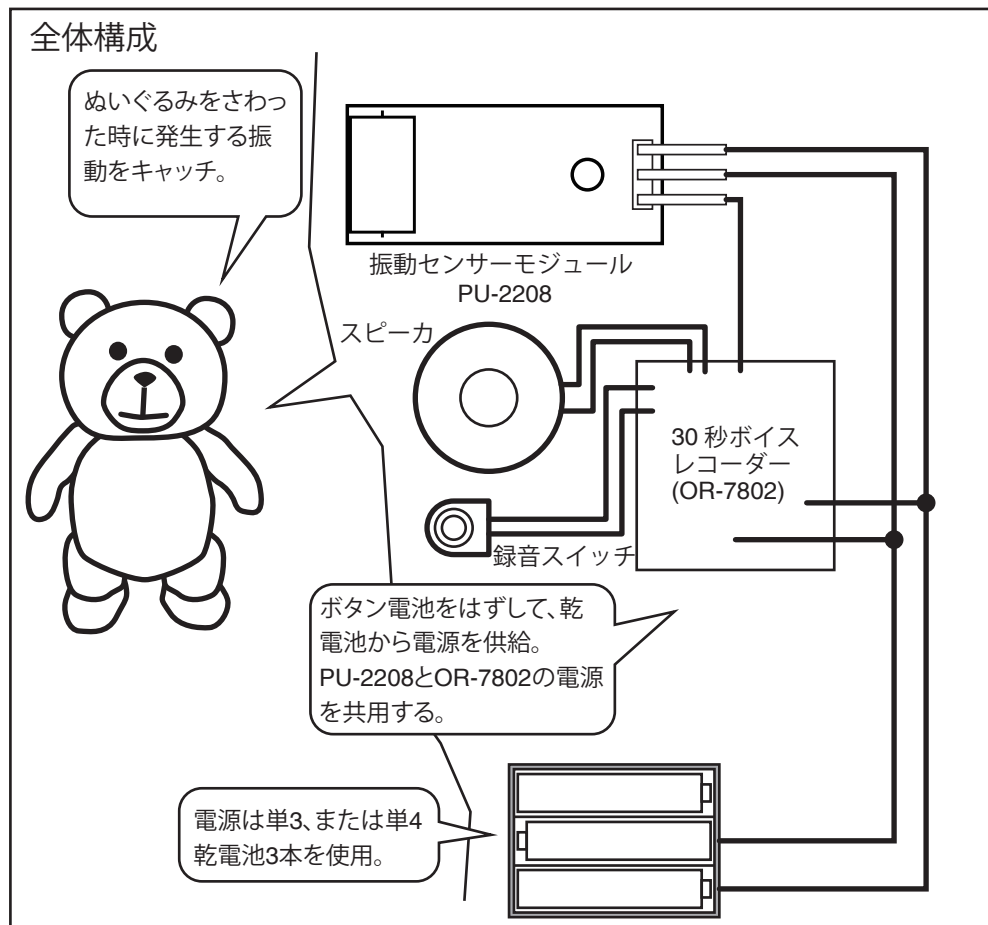


※この工作例はある程度の電子回路の知識をお持ちの方が対象で、回路図などをご覧になり自己責任で自作できる方が対象です。
この工作例についてのサポート、修理、改造などのご相談、お問い合わせは受け付けておりません。また、本書の内容について動作などを保証するものではありません。
あらかじめご了承ください。

好きな言葉をしゃべらせよう。おしゃべりぬいぐるみ!

振動センサーモジュール(PU-2208)を使用して、ぬいぐるみをだっこしたりするとしゃべり出す「おしゃべりぬいぐるみ」を作ってみましょう。言葉をしゃべらせるには、30秒ボイスレコーダー(OR-7802)を使用します。



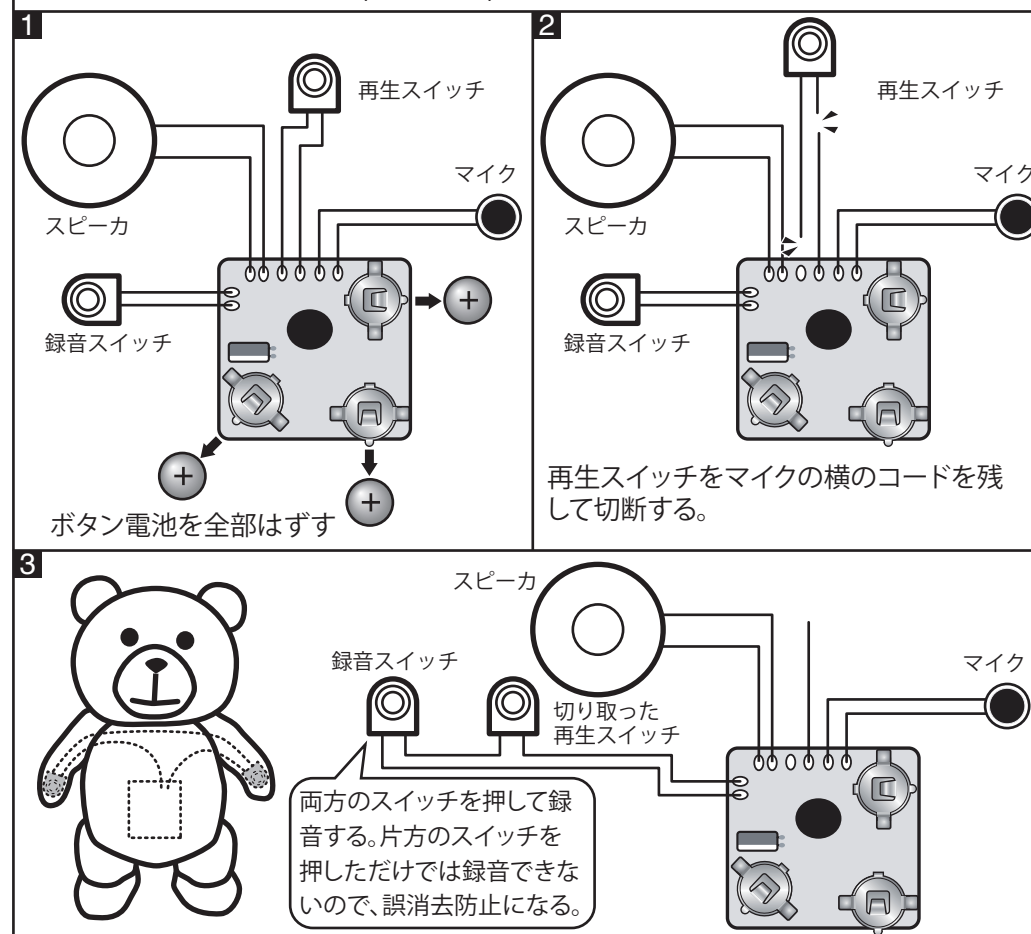
上記の構成で作成します。これに合わせて、必要な部品などを用意しましょう。

製作に必要な部品などを表にまとめてみましょう。

用意するもの	型番など	必要数	メモ
乾電池	単3、または単4	3	
電池ボックス	単3、または単4用	1	使用する電池に合わせて
30秒ボイスレコーダー	OR-7802	1	エレキットの製品です
ぬいぐるみ	好きなものを	1	

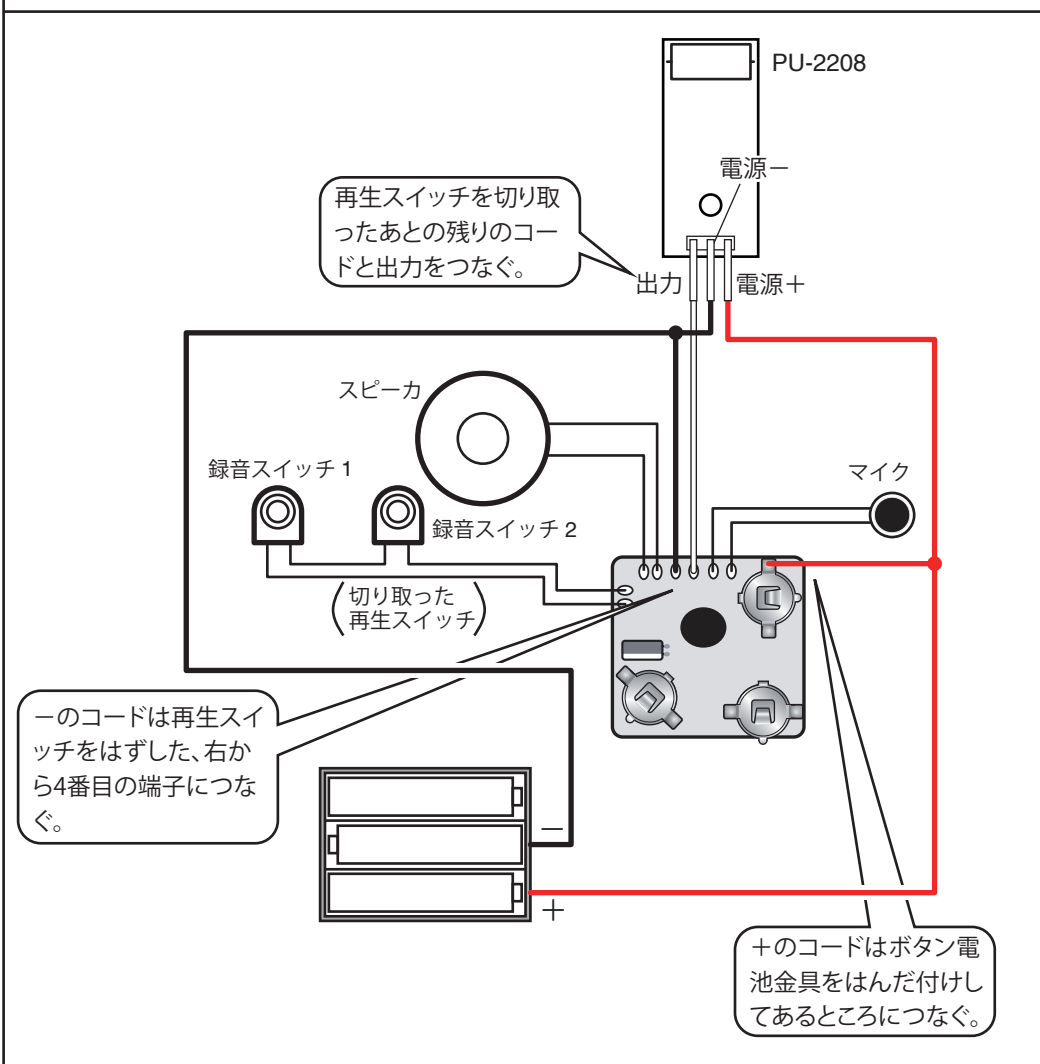
下記の実体配線図のとおり、振動センサーモジュール(PU-2208)、30秒ボイスレコーダー(OR-7802)、電池ボックスを配線します。

まず30秒ボイスレコーダー(OR-7802)を下記のように改造します。



2で切り取った再生スイッチを、録音スイッチの片方のコードの途中に接続する。これは、ぬいぐるみに組み込んだあと、不用意に録音内容を消去しないようにするためです。この2つのスイッチをぬいぐるみの両手の先などに1つずつ配置し、新しく録音する時は、両方のスイッチを同時に押して録音します。そのため、録音スイッチのコードも配置する場所に合わせて長いものに変更してください。

次に振動センサーモジュールと電池ボックス、30秒ボイスレコーダーを接続します。



配線が終わったら、録音スイッチ1と2を両方押してマイクに向かって好きな言葉を録音します。振動センサーモジュールを揺すって反応させるとスピーカから録音した音声が再生されればOKです。

最後に、ぬいぐるみに組み込めば完成です。振動センサーモジュールと30秒ボイスレコーダー、電池ボックスはぬいぐるみの中でバラバラにならないよう、板などに両面テープなどで貼り付けて固定し、その状態でぬいぐるみに入れると良いでしょう。

また、マイクは鼻に、スピーカは口もとに配置するなど、使いやすい場所になるように工夫しましょう。

もしスピーカからの音が小さいような場合は、スピーカの口径を大きなものに変えると音も大きくなります。この場合、スピーカは16Ωのものを使用してください。

